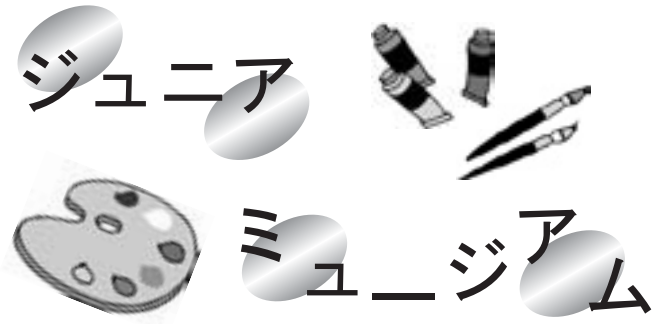


五月十二日にバスケのし合に

「バスケのし合に行つて」

桜井美紅さん

わたしは同じチームに目ざしている人がいます。シュートやドリブルがはやくできて、自分のチームを大切にするせん手になりたいです。
(評) バスケをがんばっている美紅さんのようすが伝わってくる文章です。きつとよい選手になれるでしょう。



行きました。五、六年生といっしょのし合です。一し合目は、このすたいせんしました。見ていてすごくハードでした。わたしは二し合目に出ました。十七番のせん手をディフェンスしました。すごくスピードのあるせん手でした。おいついてはいたけど、ディフェンスはできませんでした。五、六年生がわたしにもパスをくれました。ボールをもらうと、五、六年生があい手チームのディフェンスからまもつてくれました。とてもうれしかったです。わたしもそういうことができるように、れんしゅうしたいです。
ドリブルでゴール下まで行ったけど、あい手チームのせん手におされてシュートができませんでした。くやしかったです。でも、大きい人たちとやると、べんきょうになりました。シュートは入らなかつたけど、ボールがとれたからうれしかったです。

(評) 筆の使い方に気をつけ、大きくのびのびとした字が書けました。



曾原氷室くん

(評) お手本をしっかりと見て、丁寧に伸びやかに書きました。



霜田祐希さん

(本人のコメント) この絵を描くのに頑張ったことは、背景のパズルでした。一つひとつの色を変えて塗っていくことが難しかったです。でも、あのポスターを見て一人でも世界平和について考えてくれれば嬉しいと思います。今回、この作品を描いて良かったと思いました。

「世界平和」

井深来夢さん

(評) こまかいところまで、しっかりかけました。いろいろまじょうにぬれました。

鈴木 颯くん

「やがに(ら)を(ら)る(ら)ん」

